

登録コード	L2330600	開講年度	2026				
担当教員	鎌田 隆行			副担当			
授業科目	フランス言語文化特論						
英文授業名	French Literature and Culture: Specialized Study						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限
講義室	人文第1講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】				異文化理解を深めるために、フランス文化事情の基礎事項を把握することができるようになります。		
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】				異文化理解を深めるために、フランス文化事情の基礎事項を把握することができるようになります。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	授業の概要 講義形式の授業です。オンデマンドと対面を併用します（詳細は授業計画参照）。 近現代のフランス社会は、産業化、都市化、科学技術の発展、戦争や政治体制の変動など、急激かつ大規模な社会変化を経験してきました。本授業では、そうした社会的変動の只中で、作家たちが同時代の新しい事象や文物にどのような関心を向け、いかに文学作品の中に描き込んできたのかを検討します。小説を中心とする文学テクストを読みながら、「新しいもの」に対する期待、魅惑、不安、反発といった多様な反応が、どのように文学的想像力として表現されているのかを分析します。あわせて、文学が社会の変化を単に反映するだけでなく、それを解釈し、意味づけ、時には批評する営みであることを理解することを目指します。文学作品の具体的な読解を通じて、文学と社会の相互作用について考察を深めます。						
授業計画	1. [対面] ガイダンス：この授業の進め方、教科書、辞書、事前事後学習の方法について学びます 2. [オンデマンド] 近現代フランスの創発性 3. [オンデマンド] 19～20世紀の文化的変遷 4. [オンデマンド] インフラ整備と建築の発展 5. [オンデマンド] 交通手段の変遷と社会への影響 6. [オンデマンド] メディア技術の進化と情報伝達 7. [オンデマンド] 消費空間の変容 8. [オンデマンド] 近現代の食文化 9. [対面] 土地と記憶 10. [対面] バサージュめぐり 11. [対面] エスニック・パリ 12. [対面] 観光都市パリと文化産業 13. [対面] パリの表象 - 中心部 14. [対面] パリの表象 - 郊外 15. [対面] まとめ；この授業についてのアンケート（10分程度）を行います						
成績評価の方法	中間レポート（50％）、期末レポート（50％）により、総計点に基づいて成績評価を行います。						
成績評価の基準	レポートでは、(1)問題の設定が適切であり、(2)その問題の背景を説明できており、(3)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(4)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(5)その上で自分の見解を提示できており、（１）～（５）に加えて、授業で学んだ文献が適切に参照されていれば「卓越している」。(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」と評価されます。						
事前事後学習の内容	毎回の授業の終わりに学習内容を振り返って事後学習用の短答式課題を出題し、また、次回の内容につながる予習の指示を行います。						
履修上の注意	受講前に必ずこの授業のeALPSを参照してください。 オンライン（オンデマンド）と対面を併用するので、シラバスやeALPS記載の授業スケジュールに注意してください。						
質問、相談への対応	メールで対応します（メールアドレスはeALPSに掲載）。対面の際は授業終了後、時間があればその場で質問に応じることも可能です。						
教科書	教材をPDFで配布します。						
参考書	授業中に随時紹介します。						